



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 プレス工業株式会社
 コード番号 7246 URL <http://www.presskogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 美野 哲司
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 小西 久子 TEL 044-276-3901
 四半期報告書提出予定日 2019年11月7日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	105,200	△1.9	3,019	△51.8	2,969	△53.0	1,477	△60.1
2019年3月期第2四半期	107,192	3.6	6,257	5.2	6,316	5.9	3,705	3.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,339百万円 (△61.5%) 2019年3月期第2四半期 3,476百万円 (△25.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	13.50	—
2019年3月期第2四半期	33.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	153,859	92,650	55.9	794.06
2019年3月期	159,073	94,214	54.8	793.05

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 86,077百万円 2019年3月期 87,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	6.50	—	7.50	14.00
2020年3月期	—	6.50	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	203,000	△8.0	7,500	△45.7	7,300	△46.6	4,100	△45.8	37.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	114,009,770株	2019年3月期	114,009,770株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	5,608,422株	2019年3月期	4,108,216株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	109,406,769株	2019年3月期2Q	109,171,373株

(注)2019年6月27日開催の取締役会決議に基づき、2019年6月28日から2019年9月19日に1,500,000株の自己株式の取得を行いました。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの国内事業環境は次のとおりです。

自動車関連事業においては、普通トラックの国内需要は前年同期比3.8千台増の48.3千台となり、小型トラックの国内需要は前年同期比7.6千台増の58.3千台となりました。輸出は普通トラック・小型トラック共に前年同期に比べ減少しました。

建設機械関連事業においては、油圧ショベルの国内向けは前年同期に比べ増加しましたが、輸出向けは減少しました。

海外の事業環境は次のとおりです。

タイ：1トンピックアップトラックは、輸出は減少したもののタイ国内販売が堅調に推移し前年同期に比べ増加しました。

米国：ピックアップトラック・SUVの需要は前年同期と同水準で推移しました。

中国：建設機械需要は前年同期に比べ増加しました。

インドネシア：商用車需要は前年同期に比べ減少しました。

スウェーデン：欧州の自動車需要は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,052億円（前年同期比1.9%減）となり、営業利益は30億19百万円（前年同期比51.8%減）、経常利益は29億69百万円（前年同期比53.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億77百万円（前年同期比60.1%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

（自動車関連事業）

当社グループの普通トラック用部品の売上高は、国内向けは前年同期に比べ増加しましたが、輸出向けは完成車・ノックダウン部品共にアセアン向けの不振により減少しました。小型トラック用部品の生産・売上高は、国内向けは排ガス規制前の駆込み需要等により増加しましたが、輸出向けが減少したことにより全体としては、前年同期に比べ減少しました。

海外子会社の状況は、次のとおりです。

タイ：TSPKグループの生産は前年同期に比べ微減となりましたが、為替の影響等により売上高は増加しました。

米国：PK U. S. A., INC. の生産・売上高は、一部メーカーの販売台数減少により前年同期に比べ減少しました。

インドネシア：PT. PK Manufacturing Indonesiaの売上高は中・小型トラック用フレームの生産減少に伴い、前年同期に比べ減少しました。

スウェーデン：PRESS KOGYO SWEDEN ABの生産は前年同期と同水準で推移しましたが、為替の影響等で売上高は減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は890億74百万円（前年同期比0.1%減）となり、セグメント利益は42億15百万円（前年同期比38.8%減）となりました。

（建設機械関連事業）

当社の売上高は前年同期と同水準となりましたが、当社子会社協和製作所の売上高は、輸出向けの減産により前年同期に比べ減少しました。

海外子会社の状況は、次のとおりです。

中国：蘇州普美駕駛室有限公司（PM CABIN MANUFACTURING CO., LTD.）の生産は前年同期に比べ増加しましたが、為替の影響により売上高は減少しました。普萊斯工業小型駕駛室（蘇州）有限公司（PRESS KOGYO MINI CABIN (SUZHOU) CO., LTD.）の売上高は一部輸出向けの生産終了により、前年同期に比べ大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は167億78百万円（前年同期比11.0%減）、セグメント利益は6億85百万円（前年同期比47.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,538億59百万円となり、前連結会計年度末比52億13百万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

負債は、612億9百万円となり、前連結会計年度末比36億48百万円の減少となりました。その主な要因は、賞与引当金の減少、未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は、926億50百万円となり、前連結会計年度末比15億64百万円の減少となりました。その主な要因は、自己株式の取得及びその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は55.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2019年11月7日)公表いたしました「2020年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,556	18,348
受取手形及び売掛金	38,778	36,101
商品及び製品	1,363	1,369
仕掛品	10,395	10,020
原材料及び貯蔵品	1,266	1,295
未収還付法人税等	193	66
その他	2,528	2,581
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	73,080	69,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,214	11,792
機械装置及び運搬具（純額）	21,020	19,716
土地	31,928	32,259
その他（純額）	9,070	9,578
有形固定資産合計	74,234	73,347
無形固定資産		
その他	516	529
無形固定資産合計	516	529
投資その他の資産		
繰延税金資産	625	652
退職給付に係る資産	2,445	2,555
投資その他の資産	8,321	7,141
貸倒引当金	△150	△149
投資その他の資産合計	11,241	10,199
固定資産合計	85,992	84,077
資産合計	159,073	153,859
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,996	27,209
短期借入金	9,162	9,174
未払法人税等	1,264	443
賞与引当金	3,592	2,653
引当金	147	56
その他	8,175	7,489
流動負債合計	50,338	47,027
固定負債		
長期借入金	2,905	2,403
繰延税金負債	1,581	1,275
再評価に係る繰延税金負債	7,601	7,601
引当金	101	87
退職給付に係る負債	1,587	1,886
資産除去債務	410	404
その他	331	523
固定負債合計	14,520	14,182
負債合計	64,858	61,209

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,070	8,070
資本剰余金	2,074	2,074
利益剰余金	56,957	57,610
自己株式	△916	△1,619
株主資本合計	66,186	66,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,319	1,489
土地再評価差額金	17,255	17,255
為替換算調整勘定	1,180	924
退職給付に係る調整累計額	214	271
その他の包括利益累計額合計	20,970	19,941
非支配株主持分	7,057	6,572
純資産合計	94,214	92,650
負債純資産合計	159,073	153,859

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
売上高	107,192	105,200
売上原価	93,606	94,732
売上総利益	13,586	10,467
販売費及び一般管理費	7,328	7,448
営業利益	6,257	3,019
営業外収益		
受取利息	21	27
受取配当金	90	99
固定資産賃貸料	32	31
為替差益	115	—
その他	26	28
営業外収益合計	285	187
営業外費用		
支払利息	169	169
為替差損	—	31
その他	57	36
営業外費用合計	227	237
経常利益	6,316	2,969
特別利益		
固定資産売却益	1	6
保険差益	0	2
特別利益合計	1	8
特別損失		
固定資産除却損	10	16
固定資産売却損	0	—
災害による損失	207	—
特別損失合計	217	16
税金等調整前四半期純利益	6,100	2,961
法人税、住民税及び事業税	1,693	765
法人税等調整額	54	△36
法人税等合計	1,748	728
四半期純利益	4,352	2,232
非支配株主に帰属する四半期純利益	647	755
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,705	1,477

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	4,352	2,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126	△829
為替換算調整勘定	△1,033	△119
退職給付に係る調整額	31	56
その他の包括利益合計	△875	△892
四半期包括利益	3,476	1,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,065	448
非支配株主に係る四半期包括利益	410	891

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,100	2,961
減価償却費	4,689	4,612
賞与引当金の増減額（△は減少）	△730	△974
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	81	281
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△161	△28
受取利息及び受取配当金	△111	△127
支払利息	169	169
災害損失	207	—
有形固定資産売却損益（△は益）	△1	△6
有形固定資産除却損	10	16
売上債権の増減額（△は増加）	△1,503	2,978
たな卸資産の増減額（△は増加）	△99	273
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,653	△994
その他	268	△99
小計	6,266	9,063
利息及び配当金の受取額	109	128
利息の支払額	△159	△170
法人税等の還付額	5	2
法人税等の支払額	△1,585	△1,590
保険金の受取額	0	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,637	7,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,636	△4,403
有形固定資産の売却による収入	2	11
投資有価証券の取得による支出	△16	△18
その他	△94	△124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,743	△4,534
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	78	601
長期借入れによる収入	121	—
長期借入金の返済による支出	△810	△762
自己株式の取得による支出	△0	△703
非支配株主への配当金の支払額	△938	△1,376
配当金の支払額	△651	△824
転換社債型新株予約権付社債の取得による支出	△10,000	—
その他	△70	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,271	△3,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△12,409	△209
現金及び現金同等物の期首残高	24,611	18,539
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,201	18,330

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	88,426	17,563	105,990	1,202	107,192	—	107,192
セグメント間の内部売上高 又は振替高	773	1,291	2,065	—	2,065	△2,065	—
計	89,200	18,855	108,055	1,202	109,258	△2,065	107,192
セグメント利益	6,884	1,308	8,192	46	8,239	△1,981	6,257

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,981百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,988百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	88,500	15,459	103,960	1,239	105,200	—	105,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	573	1,318	1,892	—	1,892	△1,892	—
計	89,074	16,778	105,852	1,239	107,092	△1,892	105,200
セグメント利益	4,215	685	4,900	85	4,986	△1,967	3,019

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,967百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,979百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。